

府中町第2次

環境基本計画

ひと・まち・自然が共に生き、
心豊かにくらすまち あきふちゅう

2016-2025 府中町



府中町第2次環境基本計画 の策定にあたって

平成28年4月、府中町第4次総合計画がスタートします。

当計画は“商工住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち～住んでよかった、住んでみたいまちづくり～”を基本理念にしています。

これは、当町が持っている歴史・文化遺産、広島都市圏内の利便性、町の北東部を中心に豊かに残されている自然などの魅力、当町の特長である商業・工業・住宅のバランスによって創出された活力と賑わいを保ちながら、さらに質の高い住環境を目指し、次世代へつなげていくものです。

この総合計画の環境面を担う環境基本計画は、環境市民（住民）との協働作業で創りあげ、策定から15年を迎えました。

この間、住民と共に身近な自然の回復活動、ごみの削減活動、地球温暖化対策などを行い、自ら住みやすい環境を創る環境意識の高い人が集うまちとして、一定の進展が図られました。

こうしたなか、平成23年に起こった東京電力福島第一原子力発電所の事故による我が国のエネルギー施策に対する意識の変化、少子高齢化の進展による労働人口の減少、2015年の「パリ協定」（新たな地球温暖化対策の枠組み）での重要な国際間の約束など、これからの環境施策は、「環境」「経済」「社会」が、相互に関連しつつ、経済の発展を図りながら環境負荷の低減を目指した低炭素・資源循環・自然共生型のまちづくりを、「住民」「事業者」「行政」が総合的かつ計画的に推進していくことが必要となっております。

このたび策定した府中町第2次環境基本計画では、“ひと・まち・自然が共に生き、心豊かにくらすまち あきふちゅう”を環境づくりの目標として掲げ、低炭素、自然との共生、資源循環、協働の4つの基本理念のもと、総合的な環境対策の推進に取り組んでまいります。今後も、この計画が実効性のあるものとなりますよう皆様の積極的な参加と格別なご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、この計画の策定にあたり、ご審議いただきました環境審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提案をいただきました皆様方に心よりお礼申し上げます。

平成28年（2016年）3月

府中町長 和多利 義之